

令和6年度 第2回 藤沢市立大清水中学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2024年7月16日（火）13時30分～15時00分
場 所 大清水中学校 図書室

出席委員等	<p>安藤 正俊（会長／三者連携ふじさわ大清水心のかげはし会 会長） 山下 尚子（副会長／大清水中学校 校長） 吉田 正彦（大清水中学校 第9代校長） 笠原 昭彦（県立藤沢清流高校 校長） 吉田 純（大清水中学校 保護者） 佐藤 由美（藤沢西部地区青少年育成協力会 役員） 井出 祥子（藤沢公民館 館長） 野際 良介（聖園子供の家 施設長） 小坂 亜希（大清水中学校 元PTA 役員） 小原 多江子（人権擁護委員団体名及び役職等） 坂口 由紀（大清水中学校 教頭） 古谷 細保（大清水中学校 教務主任）</p> <hr/> <p>出席委員：11名（欠席委員：1名 佐藤委員） 事務局：坂口 由紀（大清水中学校教頭） その他出席者：生徒会本部役員6名</p>
次第	<p>1. 開会 （1）会長より （2）副会長より 2. 議題 （1）生徒会本部より （2）地域学校協働本部とコーディネーターについて （3）その他 *今回予定していた校内支援に関する議題は次回へ 3. 事務連絡 次回の会議日程 4. 閉会</p>
協議内容	<p>（1）生徒会本部より（スライドで説明あり） 昨年度実施した活動（行事、三校交流、レクレーション、赤い羽根募金等）をスライドで説明。 Q：楽しかったことは→三校交流 Q：充実していた活動は→行事の準備等 Q：今年、重点的にやろうとしていることは→あいさつ運動を学級委員と連携しながら参加者を広げていきたい。 Q：三校交流のレクはどうでしたか→楽しかった</p>

Q：三校交流で企画したいことは→リーダーシップをとりながら、今年も積極的にコミュニケーションをとり、ふれあいの輪が広がるような企画を考えたい。昨年度は小学生、高校生と話げできたことがうれしかったし、仲良くなれたと思う。

【意見】

・ヒマワリ運動は、役割分担を行いながら小・中・高で取り組める活動として大変有意義なもの。レクレーションでの話し合い等も良い経験になるだろう。今後もぜひ続けていってほしい。

・ヒマワリの刈り取り後の処分については課題がある。肥料にできないか、地域に力を借りることはできないか等、今後要検討。新しい案も必要となるか。

・小・中・高の日程を調整することが難しい。

・大清水地区が中心となって引っ張っていけるような企画をお願いします。協力はさせていただきます。地域をぜひ巻き込んでほしい。大人の力が必要な場面があれば教えてほしい。

→

・レクレーション企画の際は、地域の方にも参加していただけると嬉しい。

・赤い羽根募金、あいさつ運動へ参加していただけると嬉しい。

(2) 地域学校協働本部とコーディネーターについて

学校長より、今後のコミュニティ・スクールについての説明（プリントあり）

【意見】

・コーディネーターの今後の方向性はどのような考えかも含め、市教委とともに検討していく必要があるだろう。地域全体として考えていくべきこと。

・どういう意味合いがあるのか、設置する意味も含めて協議が必要。

・まだはっきりしないこと、不明瞭なことも多い。もっと議論が必要。

→

・学校横断的な取り組みをしている地域もある。“新しいこと”ではなく“足していく”と良いのではないか。

(3) その他

・3校交流は“皆が見守ってくれている（皆が見てくれている）”という意識で子どもの成長につながっている。

・3年生は進路に向けて、2年生のキャリア教育では、職業インタビュー実施予定。自分がやりたい、興味があるところへ行く予定です。

・9月2日、防災訓練を実施します。